

校報かめのこ

福生六小ホームページ <https://fussa-6e.hs.fussa.school/>

か	考える子
め	めげない子
の	伸びる子
こ	心豊かな子



楨(ゆずりは)

福生市立福生第六小学校

副校長 岡野 厚実

数年前、前任校のときの話です。台風の影響により、職員玄関前にあったシンボリックな樹木が折れました。安全のため、すぐに伐採されることとなりました。児童や教職員が毎日目にする身近な存在となっていた樹木であったため、非常に残念でした。

その樹木は、「楨(ゆずりは)」です。ユズリハ科ユズリハ属の常緑高木で、漢字表記は他にも「杠」、「弓弦葉」、「譲葉」などがあります。春、枝先に若葉が出たあとに、若葉にその場所を譲るように古い葉が落ちて入れ替わることからその名の由来とされています。「楨(ゆずりは)」は昔から、家の永続、世代交代の象徴として縁起木とされてきました。葉は、今でもお正月飾りとして使われています。

「楨(ゆずりは)」の姿は、この時期の児童の姿とよく似ています。3学期になり、最高学年の6年生は、リーダーとしての役割を5年生に譲ります。5年生は、6年生からリーダーとしてのバトンを受け継ぎます。2月26日には「6年生を送る会」、3月12日には「たてわり班ロング集会」があります。リーダーとして5年生が中心となり、下級生とともに準備を進めていきます。

リーダーとして初めて取り組むこの機会は、児童の成長にとって大きな意味があります。1年前、バトンを受け継いだ現在の6年生は、「6年生を送る会」と「たてわり班ロング集会」を成功に導きました。このときの経験を基に、今年度は各行事等でリーダーとして活躍してくれました。今回も、行事の成功を通して、児童の更なる成長に期待しています。そして、来年度、福生第六小学校の中心として活躍し、よりよい学校へと導いてくれると信じています。

福生六小 CS 委員会が表彰されました

東京都教職員互助会、日本教育公務員弘済会東京支部より、「ふれあい感謝状21 優秀賞」をいただきました。平成29年度よりコミュニティ・スクールとして指定を受け、CS委員会が取り組んできた成果が実を結びました。